

R18

十雲
曉



Menu

攻

受



烏間 しげる 滋



飯島 あお 蒼

【あらすじ】

・高校編 《一年編》

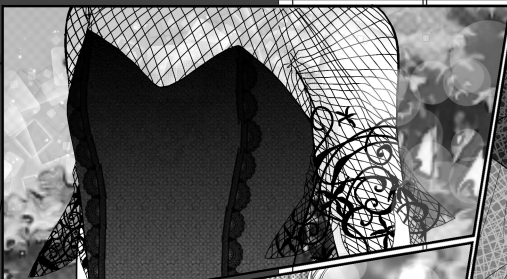
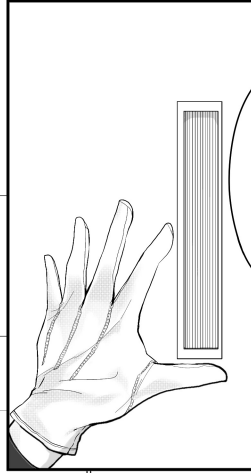
飯島蒼は憂鬱な気持ちで高校の入学式へ行く。五年間なんてあつという間…そう思っていた。入学式後、隣の席に座る烏間滋へ何となく「委員会一緒にやらない？」と誘う。この時から蒼と滋の全てが始まった。

滋から猛アプローチが始まるが蒼は家庭の事で悩んでいて…。【詳細は小説を読んで頂ければと】

・大学編

大学二年生になっていた。これからも一緒にいると思っていた滋は修学旅行での事件で記憶を失い、蒼が知る「滋」は何処にもいない。記憶が無い烏間と契約で身体だけの関係が続ける蒼は、自分では烏間滋を幸せには出来ないと半年後に短期留学をして諦めようとしていた。しかし、ある事がきっかけとなり滋は記憶を取り戻し、離れていこうとする蒼を必死に追い掛ける。

この話は無事に再スタートをした二人のとある休日の話です。





滋？

あ、え、えつと...



エッ、え？ヤバイヤバイ、何あれ可愛い過ぎなんだけど、でも何で蒼も文化祭の服してるんだ？嗚呼でもそんな事より、すっごく可愛い！抱き締めて、かましてキスしたいからし込んで

その…
文化祭の時の衣装
凄く似合ってるなって…

本当に
そう思う？
え？



声も
身長も中身も
あの頃から
何もかも変わった
魅力的に
なっただけだ

俺…こんなに
変わったのにな？

可愛さが増した
だけだろ

高校の頃の蒼も、
今の蒼も……



それに
蒼、聞いて





俺は大好きだよ

外見で好きに
なった訳じゃない
「蒼」は何も変わってない
これは嘘じゃないよ
だから好きって、可愛いと
思える

それだけじゃ
ダメ…かな？
愛情表現足りない？



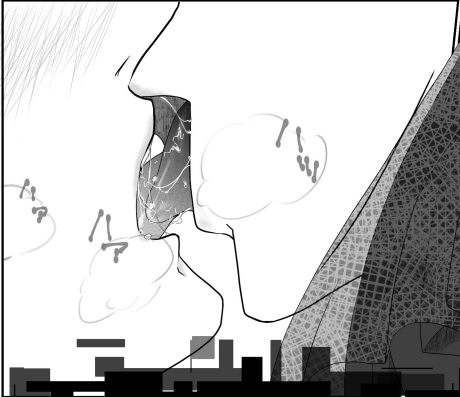
じゅ、、、じゅうぶん
です。。



口開けて

喜んで

ねえ、
キスして？



滋